

平成30年9月

# 議会・定例会 一般質問

一問一答形式

9月10日



5/9(水)から能美市の手話講座・入門コースで学んでいます。10/24(水)までの全24回です。

質問

(手話言語条例の今後) 手話言語条例の今後の取り組みと多様なコミュニケーション手段の利用促進をどのように考えているか?

答え

佐々木ひふみ 健康福祉部長/井出敏朗 市長

・広報のみ10月号から「手話単語」の紹介をスタート。12月の「ぼくらの街フェスin能美」で障がい者の理解啓発につとめる。さらに障がい者が日常生活で手助けを必要とする時に役立つ「ヘルプカード」の準備をすすめている。今後、手話言語障がい者等コミュニケーション促進検討委員会で条例の制定も含めて検討していきたい。

質問

(安心・安全対策) 防犯カメラ設置のための町会・町内会への補助金創設と民間の危険ブロック塀撤去の補助金創設は?

答え

西村泰知 市民生活部長/朝本仁志 産業建設部長

・防犯カメラ設置については町会・町内会からの要望もあり、他の実施済の市町の例を参考に創設に向けて検討していきたい。  
・民間の危険ブロック塀の撤去は費用の一部を補助する制度を今議会に提案しています。

質問

(災害対策) 7月の西日本豪雨水害をうけ、災害廃棄物処理計画の制定時期の前倒しはあるか?

答え

西村泰知 市民生活部長

・一刻も早い策定は必要だが手取川・梯川の新しい浸水想定に基づく被害想定はされていないことと、災害廃棄物だけでなく家庭の生活ゴミ、産廃の処理等、多岐にわたる処理計画を作り実効性のある計画策定を2020年度末までに目指すのでご理解いただきたい。



質問

(観光物産対策) 2023年の北陸新幹線敦賀開通までに地域復興・観光・防災の観点から道の駅を設置すべきではないか?

答え

井出敏朗 市長

・道の駅は観光や地域振興の観点から集客力のある有効な施設になると思っているが、大きな財政負担を伴うため先進事例の検証、多角的な視点による調査を行い観光戦略会議の観光アクションプランのなかに協議を委ねたい。

質問

(観光物産対策) 能美根上駅の列車接近メロディーや能美根上スマートIC付近に「おとのみち」を設置し、その各メロディーとして「栄冠は君に輝く」を復活、採用し、能美市の観光・存在のPRにつなげられないか?

答え

朝本仁志 産業建設部長

・「栄冠は君に輝く」のJR能美根上駅での接近メロディー復活は接近メロディーを安全上、統一したいJR西日本としては、人身事故防止の観点からむずかしいという回答だった。  
・「栄冠は君に輝く」を能美根上スマートICでメロディーロードとして活用するのは、既に高機能舗装をしてあるのでむずかしいが、市内の他の道路で設置できないか調査する。

## 質問のまくら(冒頭)での発言!

9月議会の一般質問のまくらで『地元新聞の読者投稿欄に県内の高校生の文章が掲載されていて「耳が聞こえない障がい者が自分の行き先を拒む壁ではなく、自分と共に歩いていく身体の一部だと皆さんに伝えたい。そもそも壁とは障がいがあるなしにかかわらず誰にでも存在するものではないでしょうか」この文章からハンディキャップをものともせず前向きに自分の人生を切り開いていくご本人の気もちが伝わってきて感銘をうけました。』と発言。



## 能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16  
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812



<http://www.tvk.ne.jp/~uno0905/>

卯野修三 検索 卯野修三

# しゅうちゃんニュース

UNO SHUZO



2018年  
(平成30年)

第2号

## 卯野修三 議員活動報告

秋も深まってきました。日頃、お世話になり、ありがとうございます。

さて、昨年(2017年)10月22日投開票の能美市議会議員選挙で初当選させていただいて早や10か月が経過いたしました。議員として様々な活動を行っておりますが、まだまだ勉強不足を痛感しております。もっと、もっと現場に足を運び、住民のみなさまとの対話を通じ、能美市の現状そしてこれからの説明・提言できるよう努力してまいりますので、今後ともどうかご指導・ご鞭撻よろしくお願いたします。

今回の「しゅうちゃんニュース」は春の第1号に続き、第2号では、3月議会、6月議会、9月議会の一般質問の内容と、7月上旬に発生した西日本豪雨ボランティアの模様をお伝えします。

「勇気・元気・やる気」

平成30年秋 能美市議会議員 卯野 修三 (会派 大志所属)



## 平成30年7月豪雨 岡山県倉敷市真備町(まびちょう)にて、ボランティア活動!!



西日本豪雨で被災されたみなさまに謹んでお悔やみ、お見舞い申しあげます。  
一日も早い復旧、復興をお祈り申しあげます。

7月3日以降、梅雨前線が西日本から東日本に向け停滞活発化、6日~8日にかけて、11府県で大雨特別警報が発表され平成に入つての最大の豪雨被害が発生しました。

私自身、7月4日~6日は、大津市で議員の研修会に参加していましたが、サンダーバード、しらさぎが運行不通になり、7月6日に東京経由の新幹線で石川に帰りました。いまさらながら自然災害に強い新幹線の強さを感じました。そして1週間後、あまりに被害が拡大する報道を聞き、いても立ってもいられない気持ちになり、7月15日(日)被災地の一つ岡山県倉敷市真備町(まびちょう)へ行き、1日限りでしたがボランティア活動をしてきました。

朝5:52小松発のサンダーバード、8:03京都発の新幹線のぞみ、9:12岡山発の新幹線こだま、9:22新倉敷着。駅北口から専用バス(無料)で倉敷ボランティアセンターに9:40着。受付をし、専用大型バス(無料)で真備町のボランティア基地に10:10着。スタッフからの注意事項を聞き1チーム5人編成で徒歩15分で被災地のミニ・サテライト基地へ行き、15分待って被災された方々が我々を迎えに来て、11時20分頃に現地に到着、昼食を各自とり作業開始。但し、当日は温度も35度を超えていたので、ボランティアセンターのスタッフからも「とにかく無理をしないで下さい。水分補給して下さい。」とのアドバイスを受け、20分作業して10分休みの繰り返して、瓦礫の撤去・泥だし作業を、声かけ合いながら行いました。

現地は水道が利用でき、トイレも水洗で使用できたので、土ほこり対策のマスクは必要でしたが臭いはあまり感じませんでした。又、報道によると政府からのプッシュ支援(被災地区から支援要請が来る前に政府から想定して物資を送り届ける)の効果か、ボランティアセンターには飲み物、作業道具が相当数準備されていました。

但し、ボランティアの人数は岡山県・広島県には7月14日(土)と7月16日(月祝)には各3,500人、7月15日(日)は5,500人でしたが、平日の7月17日、18日は各1,000人とのことで、平日は少なく休日に偏ることと道路事情の悪い被災地を控える自治体にはボランティアが入りにくく今後も偏りは続きそうです。

そしてお年寄りの方々、お身体の不自由な方々の今後の生活再建についての見通しの立たない現状を踏まえ、様々な方向からの支援に終わりはないと思いました。

うの修三 後援会情報 本年(平成30年)6月に役員改選があり、後援会会長は初代の倉元慎一郎氏から田村龍司氏になりました。

平成30年3月

# 議会・定例会 一般質問

一問一答形式

● 3月12日



平成30年6月

# 議会・定例会 一般質問

一問一答形式

● 6月12日

質問

(能美市の魅力発信) 2020年東京オリンピック・パラリンピック、2023年北陸新幹線敦賀開業と能美誕生1200年をどう活かしていくか？

答え

本多博明 産業建設部長／村本賢治 教育管理局長／井出敏朗 市長  
・昨年12月に観光戦略会議が発足し、能美市の魅力を活かす取り組みがスタートした。今後、競歩の練習コース(米丸町から火釜町

で往復2km)を整備し、日本ナショナルチームの事前合宿誘致を推進していく。又、能美市の宝の1つである九谷焼をメダリストの副賞・選手村の食器として使用できないかPRする。そして、北陸新幹線敦賀開業効果を、県や近隣市町と連携し取り組み、能美誕生1200年の節目であることを活かせるよう検討していきたい。



質問

(プログラミングの必修化) 2020年度から小学校プログラミング教育の必修化となるが今後の対応は？

答え

谷口 徹 教育長

・昨年8月、北陸先端大(JAIST)と連携し、本年3月には、北陸電力と共催しプログラミングの体験学習を行った。本年度は夏休み中に、市内に進出したアイ・オー・データ機器と連携し教員向けの研修会を企画する。又、11月の子どもマイスターウィークのなかで、小学校向けプログラミング体験学習教室を計画し、「プログラミングは楽しくて易しい」ということを体感させ、2020年度に向け準備を計画的に進めたい。



質問

(オープン・データ) オープン・データの能美市の現状と今後の取り組みは？

答え

橋場和彦 企画振興部長

・平成26年度から公共データの民間開放であるオープン・データに取り組み、デジタルのデータを公開中。のみバスの時刻と経路を確認できるサービスや家庭ごみの分け方、出し方がわかるアプリ「5374(ゴミナン)」もあり、画像の利用で年間300回以上ダウンロード。石川県内でオープン・データに取り組んでいるのは7市1町。全国でも、約1,700の自治体のうち20%にとどまっているが、公共サービスの提供、行政の透明性の見地からも、利活用を探っていきたい。



質問

(消費者トラブル防止) 高齢者の消費者トラブル防止にどう取り組んでいるか？

答え

坂井俊之 市民生活部長

・近年、能美市の消費生活センターの高齢者の相談件数の割合が高い。石川県警本部監修の特殊詐欺被害防止DVDをいきいきサロンで活用したり、市内図書館で貸出しています。市内の消費者被害防止ネットワークと情報共有し被害防止、啓発活動につとめたい。



質問

(都市再生事業) 整備終了した辰口・根上両地区の事業評価と整備中の寺井地区の今後の方向性は？

答え

朝本仁志 産業建設部長／井出敏朗 市長

・辰口地区の、里山の湯、辰口温泉などの利用者、根上地区のJR能美根上駅の利用者は、各目標値を上回っているが、地域住民が主体になり、地域ぐるみの活動の継続が課題といえる。他方、寺井地区は東西連絡道路というハード面の整備だけでなく、町会・公民館・壮年団など住民主体で組織された「てらかつ協議会」が平成26年に組織され、主体的に行動し、本年4月には、キックオフミーティングも開催されたので、市としてもできるかぎりの協力をしていきたい。

質問

(市職員の働き方改革) 今後の方向性を問う？

答え

吉光年治 総務部長／井出敏朗 市長

・平成31年度までの計画として、能美市次世代育成支援並びに女性職員活躍推進に関する特定事業生行動計画を策定した。目標達成に向け、ノー残業デーの推進や年次育児休暇の取得力向上につとめる。今後もワークライフバランスの推進に向け職員の働きやすさに向かって努力する。又、効率の良い行政運営には、職員のモチベーションを維持向上させていくことも不可欠であり、先進事例である議員指摘の大野市のやり方なども含め、今後検討していきたい。

## 質問のまくら(冒頭)での発言!

3月議会の一般質問のまくらで『富山県の舟橋村はまちづくりが功を奏し人口が2倍になり、「奇跡の村」と言われ本\*まで出版されたが、ぜひ能美市も近い将来、本が出せるように一緒に頑張りましょう。』と発言。

※「日本一小さな村の人口は、なぜ倍増したか?奇跡の村・舟橋」富山新聞社 編



## ◆賛成討論◆

6月議会の最終日6月21日に、市執行部から提案の平成30年度能美市一般会計補正予算および専決処分報告に対し、賛成討論を機会をいただき、約8分間、賛成の意見を述べました。

## 質問のまくら(冒頭)での発言!

6月議会の一般質問のまくらで『会派の研修で九州のある都市の議会のキャッチフレーズで、「議会が変われば市も変わる、市が変われば」という立派なキャッチフレーズを聞き、議員になって10か月、最も変わらなければならないのが不肖、私こと卯野であると、日々痛感しています。』と発言。

